

国立大学改革プラン

文部科学省は、「日本再興戦略」（平成25年6月14日閣議決定）、「教育振興基本計画」（同日閣議決定）、「これからの大学教育等の在り方について（第三次提言）」（平成25年5月28日教育再生実行会議）等を踏まえ、今後の国立大学改革の方針や方策、実施方針をまとめた「国立大学改革プラン」を策定しました。

国立大学改革加速期間（平成25～27年度）



ミッションの再定義

文部科学省と意見交換を行い、研究水準、教育成果、産学連携等の客観的データに基づき、大学の強み・特色・社会的役割（ミッション）を整理しました。

今後、大学の強みや特色を最大限に生かし、機能強化につとめてまいります。

医学系分野

- 建学の理念等に基づき、患者第一主義の診療を実践できる優れた臨床医及び独創的研究や新しい医療技術の開発を推進できる医学研究者の養成を積極的に推進する。
- 地方公共団体等との密接な連携の下、静岡県内の地域医療の中核を担う医師の養成・確保や地域のニーズの高い専門医の養成等を積極的に推進する。
- 光技術の医学応用（メディカルフォトリクス）と生体内分子の詳細な画像化（分子イメージング）に関する研究や小児発達学研究等を始めとする研究の実績や産学官連携によるものづくりの実績を活かし、先端的で特色ある研究を推進し、新たな医療技術の開発や医療水準の向上を目指すとともに、次代を担う人材を育成する。
- 治験拠点医療機関としての取組実績を活かし、高度で実施に困難を伴う治験等の実施を推進し、日本の医療水準の向上及び日本発のイノベーション創出を目指す。
- 県内唯一の医育機関及び特定機能病院としての取組や地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、被ばく医療機関等としての取組を通じて、静岡県における地域医療の中核的役割を担う。

保健系分野

- 建学の理念等に基づき、看護技術の習得のみならず、科学的な判断力や探究心を持ち、看護の実践・研究・教育分野において国内外で活躍できる人材の育成を目指す。
- 日本のものづくりの基盤である製造業が盛んな地域特性を踏まえ、産業保健、産業看護の発展・向上を担う観点から、研究・教育により地域に貢献する。
- 修士課程における急性・重症患者看護専門看護師教育の実績を始めとする専門的な医療人の育成を推進する。外国人居住者の多い静岡県西部の地域特性を考慮し、国際的視点をもって地域医療に貢献できる看護専門職の養成に力点を置く。

具体例

高機能シミュレーターによる中堅職員、後期研修医を対象とした指導医の育成
家庭医育成の取組と連携
次世代 PET 診断システムの研究開発
新しい副鼻腔手術用光学式ナビゲーションの実用化
小児発達学研究の推進
メンタルヘルス対策事業、産業保健を中心に研修会、講演会の実施
在宅看護の現場を体験する実習プログラムの作成